

令和8年度の政策と予算を要望

大分県漁業関係団体漁政推進本部(中根隆文代表)は9月1日、自民党大分県連に対し令和8年度の国・県の政策と予算確保を要望した。内容は九州・山口地区の漁協等の要望に県漁協及び養殖団体等の要望を加味した以下の14項目とした。※以下には新規要望の内容のみ記載。

また、8月30日には公明党に対しても同様の要望を行った。

1 漁船漁業の振興

- (1)漁場、新魚種の開発(国政・県政) 継続
- (2)資源管理漁業の推進(国政) 継続
- (3)栽培漁業の推進(国政・県政) 継続
- (4)漁場環境の改善(国政・県政)※一部新規:「磯焼け」対策として各地で「漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業」により、岩盤清掃や食害生物の駆除などが行われている。継続的な予算措置及び拡充を要望する。



中根組合長あいさつ

2 養殖漁業の振興

- (1)餌飼料高騰対策(国政・県政)※一部新規:本年度から開始された蒲江加工センターから排出されるブリ加工残渣を原料とした養殖飼料及び低魚粉飼料の開発研究の推進及び養殖業者への早急な技術移転等を要望。
- (2)人工種苗及び育苗体制の整備(国政・県政)※一部新規:ブリやヒラメ養殖の人工種苗の効率かつ安定的な生産手法の確立及び育苗体制の構築を要望。
- (3)環境変化に伴う施設整備、疾病等対策の加速(国政・県政)※一部新規:魚種を問わず、ワクチンなど医薬品開発のための支援を要望。

3 水産物価格の向上

- (1)産地加工の推進(県政) 継続
- (2)輸出を含む販路開拓(国政・県政)※一部新規:中国等による輸入全面停止等をいち早く解消するよう外交努力を尽くすとともに、新たな負担増加にならないよう特段の支援をお願いする。対米輸出については、生産者の負担軽減や輸出用生産物の国内還流による相場低下対策などの措置を十分に講じることを要望。
- (3)県産県消の拡大(県政) 継続

4 漁業・漁協経営の再編

- (1)協業・複合経営の推進(県政) 継続
- (2)漁協経営基盤の改善(国政) 継続
- (3)新リース会計基準への対応について(国政)※新規要望:令和9年4月1日から適用される「新リース会計基準」について、導入されれば自己資本比率等の財務指標が悪化するなど組合の財務に大きな影響を及ぼすことが危惧される。よってリース資産等を多く抱える県一漁協等の協同組合については、特例を設け、適用除外とすることを強く要望。
- (4)海業の円満な導入(国政) 継続

JF大分

水産おおいた

2025年
10月

182号

元1万円
大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>



第27回ジャパンインターナショナル シーフードフェア(東京)

8月20～22日に、東京ビッグサイトで開催され、本店職員、県関係者計8名が参加した。

当組合からは、養殖ブリのほか、かぼす養殖魚(ブリ、ヒラメ、ヒラマサ、フグ)のPR、蒲江加工センターで開発中の新製品(頭部カット、血合を除去したサイコロカット・スキンスロイン)についての聞き取り、かぼすヒラメの試食を行った。

新商品については「他にはない商品(サイコロカット)」、「海外の生食用により(スキンスロイン)」などの意見があり、興味を示した会社が複数あった。また、かぼすヒラメの試食では、「さっぱりとしている」「臭みがない」など好評であった。

3日間の来場者は27,932人で昨年よりも増加した。



サイコロステーキ



スキンスロイン



ジャパンインターナショナルシーフードショー

一般社団法人
令和7年度
大分県漁港漁場協会
通常総会

選前、市副会そ監(一井の案収林れ全長裕の漁
※ば県専長会長の事重と国選ま、支そ水挨国、一定場9
任れ漁務と長に後ににも東任た、会決の産撈漁大水期協月
期た協理富に中の選に市、費算後部を港塚産総会9
は、専事高石根理任が新長で3案、の長い漁猛庁会(日、
2務に佐川組事と理任、は号の7議のた場県防が会、
年理本伯津合会れ事、富、議承年事祝た協農災開長水
間事庄市久長で、及、高奥案認度で辞い会林漁漁職産
が長見、び石佐塚の等のは、代た会水村さ務会館
川伯中一が事、読、長産課れ代館
津市津任承業6、大等部水た理に
久長市期認計年、塚が審産、者お
見、長満さ画度、審出議施来:い
市大(了れ、の議席監、設賓中て
長塚再いた。収事、監し、田害し副県
以審任伴、支業:、渚そ中対て会
下議、う、予実、渚そ中対て会
8監、役、算績、野れ郁策高(長)漁
名松員、農ぞ也室原)港



中根副会長あいさつ

告年議安く、に犯にて協算案業に海ち、た。お
等のが協終、か・か引審力案で概第入、中、い8
が環参了、か安かき議、金、7要1、保来根、て、2
あ境加員後、事確啓、可微号度の議、安資支、部と部、総6
つ事し等、業保発、決収議計報案、長し長、会、日、
た。案、を、を及や海さ方案画告で、がての、開水
に活対各、展び海上れ法で及、6、挨児挨、催産
つ動象地、開環上保た、等7び、年、撈玉撈、さ館
い報にの、し境の安、に年収2度、議大の、れ館
て告連海、つ度支号の、議大の、れ館
のや絡上、報近会保、い全、動、いの予議事、事分、に

公益財団法人
海上保安協会
令和7年度総会

8月19日、本年度第5回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「マイナンバー関連2法（口座登録法・口座管理法）の交付業務開始に伴う手数料の新設について」、第3号議案「参事の選任について」議論された。1号議案及び2号議案はいずれも原案のとおり承認することに決した。また3号議案については、9月30日付けで新川参事が辞任すること及び後任に永井真二郎総務部長を新参事に就任させることについて、全会一致で決定した。

次に、協議・報告事項として、①米水津はまち養殖漁業生産組合の収支状況について、②余裕金の運用状況についてそれぞれ報告があった。③その他としては、自民党等への政策等の要望を行うこと、10月18、19日に別府市で開催される大分県農林水産祭への協力依頼、さらには金融庁等から強く指導されている「マネロン対策」について、役職員も当事者意識を持つてもらうため、今後研修の開催等も実施する可能性があること、不正の温床となりうる外国人労働者の口座解約、オンラインカジノ対策などにもしつかりと取り組むべきとの報告があった。

さらに、中根組合長から支店の統廃合など漁協のスリム化を進めるべきで、例えば各支店が個別に行っている販売業務を特定の拠点に一本化するなど、理事が各海区の理事以外の運営委員長に話をし、海区で議論すべきと話した。

県議会は9月4日に令和7年第3回定例会を開会、9月10日に代表質問、11日、12日、16日に一般質問を行った。

一般質問では、自民党の宮成公一郎氏は、「農林水産業の振興について」の中で「スマート農林水産業の推進」について、また、中野哲朗氏（自民党）が「農林水産業における諸課題について」の中で「新たな担い手の確保」について質問した。

【質問】 宮成議員

近年の急速な人口減少や少子高齢化により、農林水産業の担い手確保が深刻な課題。スマート農林水産業の推進にどのように取り組んでいくのか。

【答弁】佐藤知事

農林水産業の担い手が減少する中、スマート技術の活用により効率的かつ収益性の高い持続可能な生産体制への転換を進めることが重要。今後も各分野で現地への普及や開発・実証をさらに進める。

水産業では、陸上養殖で自動給餌システムの開発等を進めるほか、海上での高水温等の影響を受けにくい水深にブリ養殖の生け簀を沈め、AIや衛星通信技術を活用し、常時、魚を管理できる手法の実証に取り組んでいる。今後、費用負担を軽減でき、誰もが技術を利用しやすい環境が必要。

そのため、作業代行や機器レンタル、データ活用のサポート等を担うサービス事業体を増やしていくなどしてスマート技術を一層普及させることで、将来を担う中核的経営体を育成する。

【質問】 中野議員

本県の農林水産業を持続させていくためには、担い手の育成や確保、収益の向上、環境保全、消費拡大など幅広い取り組みが必要。今後の担い手の確保について、どのように取り組んでいくのか。

【答弁】 刈野農林水産部長

農林水産業の従事者が今後大きく減る中、新たな担い手の確保は持続可発展に不可欠。女性就業の確保では、体験バスツアー等の開催やシャワー室や軽量草刈機の導入支援など働きやすい環境づくりを進めてきた。子育てとの両立等に向け労働時間の短縮も重要であるため、スマート技術等を活用したサービス事業体の利用促進や福祉事業所との連携を進めていく。増加する外国人労働者については、翻訳機の導入によるコミュニケーションの促進や通勤用自転車導入など生活面からも支援していく。

県農林水産研究指導センター水産研究部は、9月上旬に以下3か所の赤潮情報を発表し、魚介類の管理に十分注意するよう呼び掛けている。

- ①佐伯湾 (JF上浦支店裏): ノンディニウム・ルブラン (最高密度900cells/ml 9/1~)
 ②猪串湾 (弁天島周辺): 小型渦鞭毛藻 (最高密度23,000cells/ml 9/8~)
 ③入津湾 (河内): プロセントラム・シグモイデス (最高密度10,000cells/ml 9/9~)
 ④入津湾 (加工センター周辺): " (最高密度20,000cells/ml 9/9~)
 ⑤入津湾 (畑野浦全域): プロセントラム属、ユートプレディア属
 (最高密度1,295cells/ml、6,000cells/ml 9/9~)

上記はいずれも魚介類に直接斃死を引き起こす有害なプランクトンではありませんが、濃密海域では酸欠等を引き起こすことがありますのでご注意ください。

編集後記

9月も後半に入り、ようやく朝晩涼しくなってきた。スーパ―に並んでいる大ぶりのサンプラを目にする 것도 秋の到来を感じている。

10月1日付けの人事異動の内示があつた。新たな体制で頑張らねばと気が引き締まる想い。県内ではコロナが増えている。季節の変わり目でもある。

皆さん、特に新たな業務に就く方は健康にご留意を。